(c)宮崎日日新聞社

宮日賞６部門贈呈

２個人４団体たたえる



第62回宮崎日日新聞賞を受けた個人や団体の代表。前列左から齋藤暁さん、山下裕亮さん、宮交ホールディングスの渡邊俊隆さん、後列左から県俳句協会の田上比呂美さん、NPO法人ASDみやざき（県自閉症協会）の児玉真弥さん、平岩採介藻グループの岩本愛さん＝23日午前、宮崎市・宮日会館

各分野で優れた功績を挙げ、県民の幸福や本県の発展に寄与した個人・団体を顕彰する第62回宮崎日日新聞賞の贈呈式は23日、宮崎市の宮日会館であった。科学、文化、教育、産業、社会、新設したSDGsの各賞を受けた2個人4団体を表彰し、それぞれの歩みをたたえた。（2面に関連記事）

式では受賞者の取り組みを映像で紹介し、吉岡智子編集局長兼論説委員長が選考過程を報告。見山輝朗社長が受賞者らに賞状などを手渡した。

見山社長は「それぞれの道に確かな足跡を刻み、社会に価値をもたらした。これからも宮崎の未来を明るく照らしてくれることを期待したい」とあいさつ。産業賞を受賞した宮交ホールディングス（HD）の渡邊俊隆社長が「4台のバスから始まったグループが100周年を迎えられたのは県民のおかげ。次の100年も県民に寄り添い頑張っていきたい」と謝辞を述べた。

教育賞を受賞した宮崎公立大人文学部准教授の山下裕亮さん（観測地震学）への公開インタビューもあった。

宮崎日日新聞賞は本紙創刊25周年を記念して1965（昭和40）年に創設。受賞者総数は294個人、239団体となった。